別紙１

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構非常勤教員公募要項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．機構名 | ２．専門分野・職務内容 | ３．募集人員 |
| 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 | 「地域レジリエンスに係る数理・データサイエンス分野」 | 特命准教授または特命講師１名 |

 ４．応募資格：原則，以下の全てを満たすこと

・博士号ないしはPh.Dを有する，もしくは令和５年３月３１日までに取得見込みの者

・分野を問わずに数理・データサイエンス，AIに係る教育ならびに研究ができる者

・構造物の動的解析，津波／高潮等の浸水解析，さらには両者に係る避難行動解析が可能で，かつ，

関連研究の実績がある者

・人工知能関係（機械学習，深層学習，CNN，YOLO等）の知識が豊富で，かつ，関連研究の実績がある者

・Pythonによるプログラミングと，関連する教育ができる者

・衛星画像やドローンの画像を中心に，画像処理・解析ができる者

・香川や四国の他の３県を対象に研究の実績がある者

 ５．採用予定年月日：令和５年４月１日以降のできるだけ早い着任可能日

 ６．提出書類：①履歴書，②研究業績リスト，③主要論文の別刷（コピー可）及びその概要，④教育・研究・社会貢献活動報告書，⑤本機構における教育研究の抱負等，⑥応募者について問合せ可能な方のリスト（提出書類の記入要領は別紙のとおり），⑦上記のデータを保存した電子媒体

※「研究業績リスト」は別紙３，「教育・研究・社会貢献活動報告書」は別紙４を参照して　　　　　　　　記載してください。

 ７．応募期限：令和４年１０月１１日（火）１７時（必着）

 ８．送 付 先：〒７６０－８５２１　高松市幸町１番１号

　　　　　　　　　　　　　　　　 国立大学法人香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

　　　　　　　　　　　　　　　　 企画調整室長　三好　正明

 　　　（「四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構非常勤教員応募書類在中」

と朱書の上，簡易書留にて送付ください。）

 ９．問合せ先：〒７６０－８５２１　高松市幸町１番１号

　　　　　　　　　　　　　　　　 国立大学法人香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

　　　　　　　　　　　　　　　　 企画調整室長　三好　正明

※応募資格を満たすかどうかについてはお答えできません。

　　　　　　　　　 ＴＥＬ：０８７－８３２－１６５１

　 ＦＡＸ：０８７－８３２－１６６８

 　Ｅ－ｍａｉｌ：miyoshi.masaaki@kagawa-u.ac.jp

10．ホームページ： 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

http://www.kagawa-u.ac.jp/iecms/

11．選考方法：第１次選考････書類審査

 第２次選考････面接（詳細は，第１次選考合格者に連絡します。）

 ※第２次選考のための旅費は，自己負担となります。

12．そ の 他：香川大学は男女共同参画を積極的に推進しており、選考にあたって業績（教育業績、研究業績）及び人物の評価等において同等と認められる場合は、本学のジェンダーバランスに配慮して採用します。雇用については年度毎更新で、令和７年３月３１日までとなります。

別紙２

教員応募提出書類作成要領

①　履歴書

　　市販のもの，自作のものいずれでも結構です。必ず写真を貼付し，押印してください。

　　住所，氏名，生年月日，連絡先，学歴（高等学校卒業以降の全て，入学卒業年月を記載すること）

職歴（非常勤講師を含む）等の他に所属学会もご記入ください。

②　研究業績リスト

　　著書，学術論文，国際会議プロシーディングス，登録特許，作品など，研究業績について，別紙３の様式に準じて作成してください。

③　主要論文の別刷及びその概要

　　研究業績リストに記載の主要な論文（５編以内）について，その内容をそれぞれ４００字以内で簡潔　に説明し，併せてその別刷を添付してください。

④　教育・研究・社会貢献活動報告書

　　教育活動，研究活動，社会貢献活動について，別紙４の様式に準じて記載してください。

⑤　本機構における教育研究の抱負等（Ａ４判用紙２枚以内）

　　香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構における教育研究の抱負，応募する専門分野及び職種等についての抱負を記述してください。

⑥　応募者について問合せ可能な方のリスト

国内外を問わず著名な研究者等から，３人以上を挙げてください。

　　なお，「著名」の判断は応募者に委ねますが，簡潔な説明文を添付してください。

別紙３

研　究　業　績　リ　ス　ト

・Ⅰ．著書，Ⅱ．学術論文（査読付き），Ⅲ．国際会議プロシーディングス（査読付き），Ⅳ．登録特許，Ⅴ．作品，Ⅵ．学術論文（査読なし），Ⅶ．学会発表（査読なし），Ⅷ．その他（報告書等）に分けて，項目別に通し番号をつけて記載してください。該当する業績がない項目は記載しないでください。

・著者名，執筆者名の欄は，応募者本人の氏名に下線を付してください。

・頁下段中央に頁数を付してください。

　　　　氏名　　○○○○

**Ⅰ．著書**

1．著者名　：○○○○（単著）

著書名　：○○○○○，全３００頁

出版社名：○○出版，××××年

2．著者名　：○○○○（分担執筆，共著者（又は監修，編集者）：△△△△）

著書名　：○○○○○，全３５０頁（担当箇所：第○章，50～100頁）

出版社名：○○出版，××××年

**Ⅱ．学術論文（査読付き）**

1．執筆者名：○○○○，△△△△，□□□□

論文題目：○○○○○

掲載誌名：○○学会論文集，巻(号)，pp.100-108，××××年

※電子版で掲載頁番号が不明の場合は，当該研究の頁数（○頁）を記入してください。

**Ⅲ．国際会議プロシーディングス（査読付き）**

1．執筆者名：○○○○，△△△△，□□□□

論文題目：○○○○○

掲載誌名：Proceedings of ○○○○，pp.100-108，2012

※電子版で掲載頁番号が不明の場合は，当該研究の頁数（○頁）を記入してください。

**Ⅳ．特許登録（登録された特許についてのみ記載してください。）**

１．発明者名　：△△△△，○○○○，□□□□

発明の名称：○○○○○

特許番号　：特許第××××号，(登録年月日：××××年××月××日)

**Ⅴ．作品（建築作品，知的財産として登録済みの意匠，特許（公開特許を含む）が採用された商品，テレビ・ラジオなどにより放送された作品，劇場などで一般公開された作品（音楽作品や映像作品等），公募展の入選作品，企画展の招聘作品，展覧会の企画・キュレーション，企画執行に係わった商品）**※商品には外部機関から評価されたソフトウエア・サービス等を含む。（作品の概要と関わりが具体的に分かる内容を記載してください。エビデンス（第三者機関やメディア（テレビ・新聞・雑誌・WEB等）により公開された資料）があれば記載し，添付してください。）

１．製作者名　：△△△△，○○○○，□□□□

作品の名称：○○○○○，××××年，発表場所

概要　：

関わり：

エビデンス：

**Ⅵ．学術論文（査読なし）**（上記のⅡと同じ体裁で記載してください。）

**Ⅶ．学会発表（査読なし）**（上記のⅢと同じ体裁で記載してください。）

**Ⅷ. その他**（報告書等を適宜記載してください。）

別紙４

教育・研究・社会貢献活動報告書

Ⅰ．教育活動，Ⅱ．研究活動，Ⅲ．社会貢献活動，Ⅳ．自己評価・自己アピールについて，それぞれ以下　のような事項について記載してください。

Ⅰ．教育活動

　・主な教育活動歴（大学における授業担当，学協会等における講習会の講師等も含む。）

　・受賞歴（教育活動に関する受賞歴）

　・教科書の執筆，教材の開発等

　・その他教育活動に関する業績

Ⅱ．研究活動

　・受賞歴（研究活動に関する受賞歴，全受賞者氏名，表彰名称，表彰業績名，表彰主催団体名及び表彰　年月日を明記してください。）

　・学会，シンポジウム等における招待講演（本人の講演に限ります。）

　・科学研究費補助金，財団の助成金などこれまでに獲得した競争的研究資金（研究費の種類，研究テー　マ，研究費を受けた期間及び研究費の金額を記載してください。）

Ⅲ．社会貢献活動

　・学会，シンポジウム，研究会などの組織・運営や役職など

　・国及び地方公共団体等の審議会，委員会等の委員（委員名称，期間）

　・学協会，市民団体等への貢献活動

Ⅳ．自己評価・自己アピール

　　これまでのご自身の教育・研究・社会貢献活動に関する自己評価・自己アピールを自由に記載してください。